

平成26年11月27日

保護者のみなさまへ

千早赤阪村立赤阪小学校
校長 橋本 雅延

防犯ブザー所持の徹底について

枯れ葉が散り敷き、日増しに寒くなる折から、保護者の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、本校教育にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、先日の神戸市長田区内で起きた神戸市立名倉小1年、生田美玲さんの事件も記憶に新しいところですが、昨今の不審者による声かけ事案や車への連れ込み未遂など子どもたちを取り巻く安全環境には、決して予断を許さないものがあります。先日、本校1年生全員に大阪府民共済から「防犯ブザー」が贈呈され、その際に使い方の指導もしていただいたことをきっかけに、全学年の防犯ブザーの学校での所持状況を調査しましたところ、クラスに数名しか所持していないということが明らかになりました。全員所持させたいと思いましたが、新たな負担をお願いすることになるので何とかならないかと思案していたところ、先日1年生に贈呈していただいた「大阪府民共済」より、通電したものでよければということで、千早赤阪村教育委員会を通じて本校にいただくことができました。この機会に、全児童に登下校時の所持を徹底し、安全対策の一助にしたいと考えております。

防犯ブザーは、身近な防犯対策として全国的に普及を推奨しているものです。これは、緊急時の安全対策のみならず、防犯ブザーを携行することで、子どもたちの安全に対する意識の向上も図ることができるものと考えております。また、広く防犯ブザーの携帯を知らせることで、不審者への抑止効果も期待されます。また、実際に背後からつかまれた児童が防犯ブザーを鳴らし、犯人があわてて逃げたという事案も多数あります。

つきましては、本日配布しました「防犯ブザー」をランドセルの手の届くところに付けていただき、いざという時の備えにさせていただきたくお願いいたします。学校でも、定期的に関に鳴らすなどの点検を行います。

保護者のみなさまには、ぜひこの機会に、登下校時や、帰宅後遊びに出かける時などの危険な場所、緊急時の対応、防犯ブザーの使い方などについてお子さんと話し合ってみてください。また、帰宅後遊びに行くときに携行することも、お勧めします。

【防犯ブザー使用上の注意】

- 防犯ブザーをランドセルにつける場合、手の届く範囲につけてください。緊急時に手が届くことが大切です。
- 日頃から、「防犯ブザー」が鳴るか（故障していないか、電池はあるか）確認してください。
- 本日配布しました防犯ブザーは、一度通電したもので新品ではありません。電池が切れた場合は保護者の方が交換してください。（使用されているボタン電池【LR44型2個使用】は家電量販店・ホームセンター・百元均一ショップ等で手に入ります。）
また、故障した場合は、新しいものを各ご家庭で新たに用意していただきますようお願いいたします。
- たとえそれが誤作動であったとしても、防犯ブザーの音をお聞きになった場合、「子どもに危険が迫っているかもしれない。」という対応をお願いいたします

※配布しました防犯ブザーの上部を抜き、作動することを確認してください。もし初期不良がありましたら、3日以内にお申し出ください。交換いたします。それ以降は、この防犯ブザーを他校に譲渡しますので対応いたしかねます。